



ひなどい

第12号 令和7年3月3日
新潟市立新津第三幼稚園だより

【教育目標】

なかよく せいっぱい
遊ぶ子ども



みんな仲良し



園長 大矢 晃子

今年度、園の重点目標を「自分の思いを表しながら、友達と豊かに関わって遊ぶ子ども」とし、取り組んできました。子どもが「自分の思いを表す」とはどういう姿でしょうか。家庭では、あえて思いを伝えなくても分かってくれる家族がいるから、お父さんは困らないことが多いかもしれません。しかし、園では友達や先生など人と関わる上では必要なスキルです。子どもは不安になったり、不快なことや困ることがあったりすると、泣いて表すことがよくあります。園の先生は、「泣いていてもわからないよ」などとは、決して言いません。まずは、この子が泣きたくなった表しを受け止め、困っていることに寄り添い一緒に解決しています。分かってくれる人が傍にすることで気持ちを落ち着かせ、自分の思いを態度や言葉で伝え、納得して乗り越える子どもの姿をたくさん見てきました。嫌なことだけではなく、嬉しいことや楽しいこと、相手を思いやることなど、自分の思いを素直に表すには「安心」できる人や場が大事だということを、私たちは子どもの姿から学んでいます。



2月の誕生会で年長組の子どもたちが、それぞれ自分の得意なことをみんなに披露しました。「駆け足縄跳び」「大縄跳び」「鉄棒で前回り」「紐ゴマ」「サッカーのドリブルとリフティング」「世界の国旗作り」「編み物」などです。どれも、年長組さんだからこそできる難しいことばかりです。みんなの前でやるには勇気があることですが、一人一人が自信をもってやり遂げる姿に、心身ともにたくましく成長したことが感じられました。見ていた年少組や年中組の子どもたちからも「すごーい！」と拍手が送られ、年長組への憧れの気持ちがさらに高まりました。年長組も満足そうにしていました。年長組の担任の先生から「あやめ組はね、縄跳びもコマ回しも鉄棒も、すぐできたんじゃないかと、何回も挑戦してできるようになったんだよ。」と聞いて、小さい子たちも「やってみたい」という意欲をもったようです。その後、紐ゴマ回しにチャレンジしている年中組の様子がありました。

年長組は幼稚園の生活もあとわずかになりました。いつもみんなのリーダーで、かっこよくて優しい年長組さんのために「ありがとうの会」をすることにしました。会に向けて年中組と年少組の子どもたちは、一緒に準備を始めています。

このように、友達に思いを寄せることを通して、進学、進級に期待をもてるように過ごしていきたいと思えます。

あやめ組さんに
「ありがとう」
を伝えようよ！





みんなのおひなさまが出来上がりました

たんぼぼ組



もも組



あやめ組



それぞれの学年で発達に合った材料を使い、作り方も工夫して制作しました。



おひなさまの、刀も作ったよ。こうやって抜けるよ！



おひなさまの髪の毛のゴムをつけるところが難しかったよ。



先生からインタビュー「おひなさまのどんなところをがんばったのかな？」
「すてきなところ教えてね。」

目が難しかったけど、がんばったよ！



ひな祭りのことを知ったり、おひなさまクイズをしたりして、楽しみました。



ひなまつり



たんぼぼ組は、おひなさまになって遊んだり、作ったお人形と一緒に給食を食べたりしました。

